



鉄道愛が創造するグランドデザイン

～ くまもとアートポリスプロジェクト南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発グランドデザイン公募型プロポーザル ～

後世に残る文化的資産を創造し、文化の向上を目的とする熊本県の事業「くまもとアートポリス(KAP)」を活用して、高森町は2022年度の南阿蘇鉄道全線復旧に向け、高森駅周辺再開発のグランドデザインをプロポーザル方式で公募しました。これに、総勢39グループが県内外から応募。一次審査を通過した5グループが9月9日(日)、最終選考となる公開審査で高森総合センターに集まった約150人の前で、プレゼンテーションを行いました。

たかもりポイントチャンネルでは最終選考の模様を生放送しました。新聞社やテレビ局の報道陣のほか、県外からも多くの来場者が訪れ関心の高さをうかがわれました。最優秀賞に選ばれた東京都の株式会社ヌーブ一級建築士事務所の代表・太田浩史氏に構想の背景とこだわりについて話を聞きました。

とにかく広い プラットフォーム

ヌーブ社の提案で最大のプラットフォームは、長さ120メートル、奥行き16メートルというゆとりあるプラットフォーム。阿蘇五岳×列車、またタ

日×列車、と広大な風景を撮影することが可能となり、この撮影スポットを呼び水とし、観光拠点としての役割も果たせています。

いかに美しい沿線風景 をつくっていくか

インターネットで見つけた被災前の南阿蘇鉄道の動画を、幾度となく再生し、沿線の駅にいる世話人と観光客の交流などを見て、「プラットフォームの旅」というキーワードにたどり着きました。「風景鉄道」を課題とし、ランドスケープデザイン担当の林英里子さんから教えてもらった世界遺産に登録されている唯一の鉄道・スイスのレーティッシュ鉄道を参考にすることに。その鉄道に関する700ページもの資料を入手し、そこから美しい風景を維持する仕組み、駅舎やプラットフォームの作り方を研究しました。

自身が鉄道模型少年だったことから、「鉄道好きということの思いが、『何の風景を見せるか』という一番大事な選択に至った」と言います。

有事の際も使える 多機能な駅舎に

防災拠点としての駅舎の配置研究では、ひたすら駐車場とロータリーの配置検討を繰

り返した太田さん。災害時、ひとつのロータリーをコミュニティバスと自衛隊の給水車が共有するのは困難だと考え、ロータリーを各々設け、建屋も駅舎棟と防災・交流棟とふたつに分棟しました。また、施工中もいずれかの駅舎が使えるように工夫もしました。

日常にあるリゾート

国土地理院の標高データを可視化した結果、高森町は西の方角に向かって、劇場の観客席のようにゆるやかに下勾配になっていることがわかりました。夕陽が沈む風景が広がり、高低差で棚田の緑も奥の方まで繋がって綺麗に見えます。「南阿蘇鉄道の他の駅も勾配を持っていますが、高森駅周辺だけが西向き勾配で、本当に特徴的です。カルデラを最も遠大に臨む方向で、そこに夕陽が落ちる。まさに『浜辺』のような敷地で、昭和通りはそれへと誘う、そぞろ歩きにちょうど良い勾配の道だと思いました。提案のプラットフォームが、浜辺のような日常の小さなリゾートになれば、と思っています」と太田さんは思いを馳せます。

今後、この提案を基にワークショップで住民の意見を取り入れグランドデザインの作成を進めていきます。

シリーズ 高森町情報通信施設整備事業

第5回 最終回

今後の情報通信基盤 施設利活用について

広報7月号よりシリーズでご説明している「高森町情報通信施設利用の今後のあり方に関する提言」に基づき、今回を最終回として今後の情報通信基盤施設利活用についてご説明いたします。

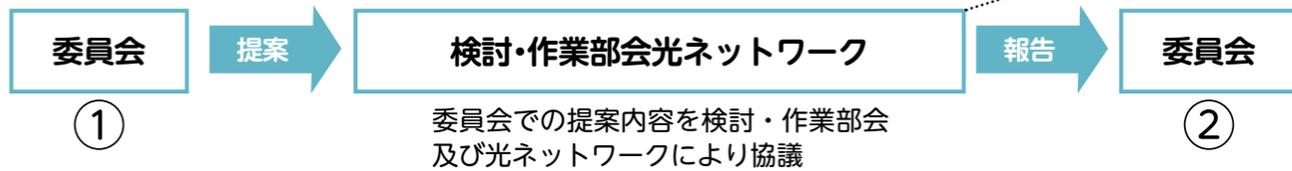
高森町つながる ひかり・くらし委員会の 設置について

「高森町情報通信施設利用の今後のあり方に関する提言」の中で「当委員会を継続、または、発展的に組織し、情報通信基盤の利活用による行政サービスや各種の施策を、住民を交えて検討する場を設けること」とされており、(提言書抜粋)そこでこの度8月に「高森町つながるひかり・くらし委員会」を設置しました。この委員会では、情報通信技術を用いた住民生活の向上を図るため、情報提供サービスの充実など、情報通信基盤利活用推進について検討することを目的としております。

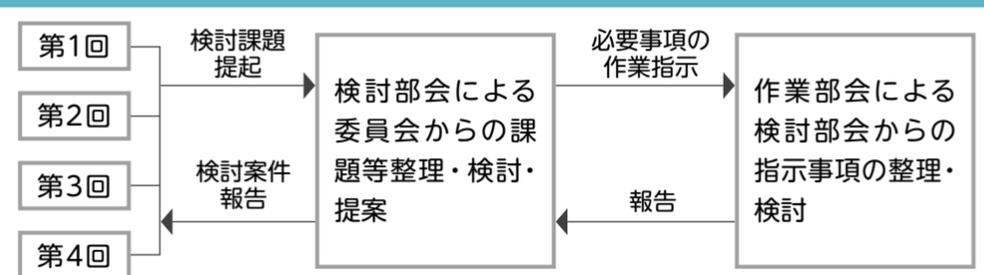
高森町つながるひかり・くらし委員会の役割について

- ①町及び光ネットワークに実施して欲しいサービスの提案
- ②町及び光ネットワークの提案に対する意見

高森町つながるひかり・くらし委員会の下に役場内で検討部会・作業部会を組織し、委員会からの提案内容を整理・検討します。



高森町つながるひかり・くらし委員会のスケジュールについて



平成30年度に高森町つながるひかり・くらし委員会を開催し、情報通信基盤施設の利活用について町に実施してほしい事業、サービス内容を取りまとめ町長に提出します。町は委員会からの報告内容を次年度以降の施策に反映していきます。

政策推進課 政策企画係
☎62-111111
内線 155